

第 3210 回例会記録	本日のプログラム	次回のプログラム
日時: 2026 年 6 月 18 日(木) 12:30~ 会場: ホテルサンシャイン 2F	6 月 27 日(木) 18:00~ 夜間例会 親睦ゴルフ・パークゴルフ表彰式	7 月 2 日(木) 12:30~ クラブフォーラム(全部門委員会) 就任挨拶と活動計画
佐渡正幸ガバナー地区スローガン Rotary のことを熱く語ろう! ~Rotarian Benefits を紡ぎ、そして育むために~		
大西孝拡会長テーマ ただひとつ 原点回帰		

会長報告 大西会長

皆様 こんにちは。

本日の例会 クラブフォーラム(五大奉仕・クラブ奉仕部門)退任挨拶と活動報告にご参加いただきありがとうございます。発表者の皆様、後ほどよろしく申し上げます。

また、6 月 13 日土曜日のひょうたん祭りにて、ロータリーデー ポリオ根絶活動にご参加・ご協力いただきました、国際奉仕委員会メンバーの皆様、高橋委員長ありがとうございます。

本日の会長報告ですが、ロータリーが長年にわたり力を注いできたポリオ撲滅についてです。

ポリオ、正式には急性灰白髄炎(きゅうせい かいはいくずい えん)、ポリオウイルスによって引き起こされる感染力の強い病気です。主に 5 歳未満の子どもが感染し、ウイルスが神経をおかすことで、手足に永久的な麻痺が残ったり、時には命を落とすこともあります。有効な治療法はなく、唯一にして最良の防御策が「ワクチンによる予防」です。日本でも、1960 年には北海道を中心に 5,000 人を超える患者が発生する大流行がありました。翌 1961 年に生ワクチンを緊急輸入して一斉に投与したことで、流行は急速に終息しました。幸い、日本では 1980 年の症例を最後に、野生株ポリオウイルスによる患者は確認されていません。

ロータリーは 1985 年に「ポリオプラス」を立ち上げ、1988 年には WHO やユニセフ、後にゲイツ財団とも手を組み、世界中の子どもにワクチンを届けてまいりました。その成果は歴史的なものです。1988 年以降、ポリオの患者数は 99.9% 減少しました。かつて年間 35 万人以上が苦しんでいたことを思えば、奇跡的な前進です。いまや野生株ポリオの流行が残るのは、アフガニスタンとパキスタンの 2 か国だけ。ゴールはもう目前です。

しかし、ここで気を緩めるわけにはいきません。紛争などでワクチンが届きにくい地域が残り、接種率の低い所ではワクチン由来のウイルスによる再流行も報告されています。「最後の一人まで」届け切ること。それが私たちの使命です。合言葉は「End Polio Now」。ロータリーの寄付には、ゲイツ財団が 2 倍を上乗せしてくださり、私たちの 1 ドルが 3 ドルの力になります。寄付による支援、そして「ポリオはまだ終わっていない」と伝えること。その小さな一歩が、世界の子どもたちの未来を守ります。

ポリオを、天然痘(てんねんとう)に続く、人類が撲滅する 2 つ目の病気に。その歴史的瞬間に、我が遠軽ロータリークラブも立ち会ってまいりましょう。

それでは本日の例会、クラブフォーラムよろしく願いいたします。

幹事報告 加藤幹事

1. 大西会長、加藤幹事にポールハリスフェローのバッジが届いております。

2. 米山記念奨学会より「ハイライト よねやま 315 号」が届いております。

委員会報告 ◇ロータリー情報委員会 高井委員長

お詫びがあります。例会時に回覧しているガバナー月信の 6 月号にミスプリントがありました。現在は新しいものに差し替えてあります。

◇次年度親睦活動委員会 佐竹委員長

次年度親睦委員会からのご報告となります。7 月 23 日の例会は正式参拝となります。新年度最初の行事を 1 人でも多くの会員の皆様とともにスタートして参りたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

◇商工会議所よりお知らせ 本間会員

陸上自衛隊遠軽駐屯地の市中パレードが 6 月 20 日土曜日 10 時から CITY 前道道にて開催されます。存置活動の一環として、町をあげての取組みに会員の皆様と事業所で動員をおかけいただきたいと思います。

本日のプログラム クラブフォーラム 退任挨拶・活動報告 会長 大西 孝拡会長

1 年を振り返りますと、加藤幹事をはじめ理事・役員の皆様、そして会員お一人おひとりのご支援とご協力に支えられた 1 年であったと、心より感謝申し上げます。

「ただひとつ 原点回帰」をテーマに掲げ、創立 66 年の歩みを支えてくださった先人の志に立ち返りながら、これからの遠軽ロータリークラブのあり方を皆様と共に考えてまいりました。今年度は、会員の皆様のご理解を賜り、会費の改定ならびにプログラムの見直しを実施させていただき、クラブを取り巻く環境が大きく変化するなか、奉仕活動の質を保ち、例会を次の世代へ引き継いでいくための、苦渋を伴う決断でございましたが、皆様のご理解とご協力のもとで実行に移すことができましたことは、このクラブが持つ結束の強さと、伝統を未来へつなぐ会員の皆様の高い見識の表れであると、深く感謝申し上げます。先輩会員の皆様が紡いでこられたロータリーの精神を、形を変えてでも次の世代へ確実に引き継いでいくこと。これが今年度、私が会長として最も大切にしてきたこととございました。

何かと至らぬ点多かったかと存じますが、歴史と誇りある遠軽ロータリークラブの会長を務めさせていただきました

は、私の人生にとってかけがえのない経験となりました。遠軽ロータリークラブが益々発展し、末永くこの地域にあり続けまことを心よりご祈念申し上げ、退任のご挨拶といたします。1年間、本当にありがとうございました。

幹事 加藤 幸徳幹事

一年間、皆様の温かいお心遣いありがとうございました。大西会長を支えるどころか、大西会長、前島副幹事、木村SAA、遠藤副SAAに助けられ、なんとか一年を終わることが出来ました。「皆様との親睦」は深めることが出来たのではないかと思います。心優しい皆様へ感謝申し上げます。インフレや値上げが世の中を覆いはじめ、地域の経済活動も予想していた以上に更に厳しくなるとは思いますが、「四つのテスト」の言葉を何度も胸に思い返し、遠軽ロータリークラブ会員の皆様と一緒に、地域社会に貢献できればと考えます。

SAA 木村 一則 SAA

今期は例会進行を副SAAにやってもらい、SAAは後ろの席から会場全体を見渡して例会の進行状況を見守るという試みをしてみました。今期は遠藤副SAAが経験者だったため特別な問題は発生していませんが、ゲスト卓話の時に時間切れの合図を送ったり、遅刻・無断欠席の会員に対し開始時間をまたいで対応したりしたくらいでした。また、今期は新入会員も多かったため、例会などでの礼節や行動一つ一つの意味・意義をもう少し伝えられたら良かったかなと思います。

クラブ奉仕委員会 金谷 正一委員長

クラブ奉仕委員会の各小委員会はほぼ予定通り実施され特に会員組織委員会に於いては新会員の入会に対し多大なる実績をあげました。また、遠軽ロータリークラブのモットーである親睦活動については例年通りの多くの事業を終える事が出来ました。会員の皆様の協力に感謝いたします。

職業奉仕委員会 高井 一博委員長

当委員会の事業としましては、年度当初の計画を概ね実施出来たと思います。四つのテストの理解と普及活動は、月初例会時に各委員輪番制にて実施いたしました。例会プログラムを用いた職業奉仕に関するスピーチは、12月4日卓話として私が「まちづくりとは」のテーマに沿って、総じて個人の職業を通じて社会に貢献し専門的な知識やスキルを活かして倫理高く仕事を行う事をお話いたしました。10月16日 遠軽自動車学校様ご協力の元、同校にて職場訪問例会の開催。認知症機能検査による認知度の確認に一喜一憂したところでした。地域社会への奉仕活動者に対する表彰は、遠軽高校山岳部非常勤顧問の畑野和宏氏を3月5日例会にて表彰しました。新入学児童に対する「多目的学習ボード」の贈呈は3月25日、教育委員会佐藤祐治教育長を訪問し85個を贈呈いたしました。会員皆様のご協力のもと、事業が進められました事に厚く御礼申し上げます。

社会奉仕委員会 井上 英勝委員長

屋外での活動なので天候や野生動物の影響により活動が中止となったものもありましたが、皆様のご協力により無事活動ができましたことに感謝いたします。皆様の参加により支えられて活動できました。ありがとうございます。

国際奉仕委員会 高橋 義詔委員長 代読木村会員

6/13(土)ロータリーデーとしてポリオ撲滅募金をひょうたん祭りの一角を借りて行いました。天候が崩れて人足はまばらでしたが、皆さんの協力で2万円を超える募金が集まりました。こ

れで委員会が予定したすべての事業を無事に終了することが出来ました。一年間の事業への参加・ご協力ありがとうございました。

青少年奉仕委員会 福家 貢委員長

青少年奉仕委員会の活動にご参加ご協力いただきありがとうございました。知らないことばかりで、諸先輩や事務局にお世話になりました。また地区の活動に参加させていただき、とても勉強になりました。ありがとうございました。次年度は、野球は球場の改修工事の関係で会場変更か開催時期変更などの課題があります。参加する大会が少ない中学生のためには是非、遠軽RC杯野球大会を実施していただきたいと思っております。

会員組織委員会 川村 寿光委員長

本年度、10パーセントの会員の純増を目指し、会員の皆様のご協力いただき、新入会員の勧誘を進めてきました。5名以上の新入会員を目指しましたが現状は3名の純増にとどまりましたが、次年度以降ならという会員候補者が数名いますので、次期委員長、委員の皆さんに引き継いでいきたいと考えています。

出席委員会 佐々木 信幸委員長

今年度(2025-2026)のクラブ会員の平均出席率は「76.7%」でした。

[2025-2026年度 出席100%会員]

石井 朋子	乾 淳	上田 稔	宇野 勝
遠藤 利秀	大西 孝拓	金谷 正一	加藤 幸徳
河原 英男	川村 寿光	木村 一則	佐々木信幸
佐竹 聖吉	佐藤 健治	高井 一博	高橋 義詔
朝長 賢一	長嶋 宏明	福家 貢	藤田 礼三
前 島 英樹	丸尾 国弘	山田 莊一	

以上、23名(敬称略)

メディア委員会 宇野 勝委員長

毎週の会報作成・発行についてメディア委員会メンバーはもとより、会員皆様の協力により滞りなく行うことが出来ました。また会員の皆様の「デジタルデータでの原稿提出」に感謝いたします。今後の課題としてはロータリークラブの公共のイメージ向上を目的としたSNSの活用をどう推進していくか。皆様の今後の議論に期待をいたします。

親睦活動委員会 朝長 賢一委員長

今年度は7月の遠軽神社正式参拝から始まり委員会メンバー・会員の皆様のご協力で年当初の活動計画通り全ての例会・行事を行うことが出来ました。特に12月のクリスマス家族会では佐々木町長ほか来賓の方々をお招きして開催することが出来、オークションでは皆様の温かい奉仕のお気持ちで過去最高となる落札額をいただきました。また、5月に実施したエスコン日ハム応援ツアーには25名のご参加をいただき活動目標の一つの会員同士の心の絆を深めることが出来たと思っております。1年間、誕生日・結婚記念日・祥月命日の記念品贈呈では事務局西野さんのお力をお借りしました事に感謝申し上げます。

プログラム委員会 乾 淳委員長

年間計画の通り40回の例会プログラムを実施致しました。(休会13回)本年度は、春と秋の交通安全街頭啓発や、遠軽ロータリークラブ旗争奪中学校野球大会を例会プログラムとし、例会費の削減や、若年層の入会を促進するため、例会参加への負担を軽減し、参加しやすい例会プログラムと致し

や、遠軽ロータリークラブ旗争奪中学校野球大会を例会プログラムとし、例会費の削減や、若年層の入会を促進するため、例会参加への負担を軽減し、参加しやすい例会プログラムと致しましたが、2週連続の休会や、月末の例会が休会となったために、理事会の準備や会員へのアナウンス等の時間が取れず、会長、幹事、各委員長の皆様には、ご苦労をお掛けしましたが、皆様のご協力により全てのプログラムを実施できました事に心より感謝申し上げます。

ロータリー情報委員会 高井 一博委員長

当委員会の事業計画であります、会員への情報提供は事務局からのロータリーの友及びガバナー月信の配布により

進めていただきました。担当例会につきましては、2月5日私がロータリーの理念、国際ロータリーの戦略計画、そして最近あらゆる分野で発せられているハラスメントのない環境づくりをお話しました。入会3年未満の会員へのオリエンテーションは5月12日に開催し、対象会員15名中11名の参加がありあらためてロータリーに対する情熱を感じました。テキストを用いた私のオリエンテーションの進行も、金谷会員のサポートを頂きながら時間が経過し懇親も深めたところです。会員皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

■Today's Snap!



大西会長 退任挨拶



加藤幹事 退任挨拶



木村 SAA 各委員長挨拶

■ニコニコBOX

- 大西会員(会長退任 10,000 円)
- 加藤会員(幹事退任 5,000 円)
- 木村会員(SAA 退任 3,000 円)
- 金谷会員(クラブ奉仕委員長退任 2,000 円)
- 高井会員(職業奉仕委員長退任、ロータリー情報委員長退任、出席 100%6,000 円)
- 井上会員(社会奉仕委員長退任 2,000 円)
- 福家会員(青少年奉仕委員長退任 2,000 円)
- 朝長会員(親睦活動委員長退任 2,000 円)
- 乾 会員(プログラム委員長退任 2,000 円)
- 佐々木会員(出席 100%2,000 円)

2025-26 年度累計 611,160 円

■出席報告

例会日	会員数	出席計算 会員数	出席者数	メイク アップ	出席率	無断欠席
6/18	48	47	30		63.8	

■編集・発行:メディア委員会

委員長:宇野勝 副委員長:佐藤直也
委員:植村涼子・黒坂貴行・長嶋宏明・吉田昌子